

放射線審議会 第 158 回総会
議事次第

1. 日 時： 令和5年3月 20 日(月) 15:00～18:00

2. 場 所： 原子力規制委員会 会議室 B/C/D
(東京都港区六本木1丁目9-9 六本木ファーストビル 13階)

3. 議 題

- (1) 実効線量係数等(ICRP2007年勧告の取入れ)及び実用量の今後の進め方について
- (2) 自然起源放射性物質に関する現況について
- (3) 眼の水晶体の等価線量限度の見直しに係る関係行政機関の対応状況について
- (4) その他

4. 配布資料

158-1-1号：実効線量係数等(ICRP2007年勧告の取入れ)及び実用量の今後の進め方について

158-1-2号：ICRP2007年勧告に準拠した線量評価手法やデータ等(1990年勧告からの主な変更点)について(日本原子力研究開発機構 高橋研究主席提出資料)

158-2-1号：自然起源放射性物質(NORM)による被ばくの包括的調査について(量子科学技術研究開発機構 岩岡主幹研究員提出資料)

158-2-2号：自然起源放射性物質(NORM)と屋内ラドンに関し今後の放射線審議会で議論すべき事項、スケジュール(案)の見直しについて

158-3号：東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業における眼の水晶体に対する等価線量の管理について

参考資料1:放射線審議会委員名簿

参考資料2:放射線審議会 第157回総会議事録

参考資料3:「実効線量係数・排気中または空気中の濃度限度・廃液中または排水中の濃度等、実効線量の使い方」に関する今後の審議の進め方に係る中間的な取りまとめ

参考資料4:ICRP2007年勧告の国内制度等への取入れ状況について(第156回総会資料156-3号)

参考資料5:自然放射性物質の規制免除について(平成16年7月 放射線審議会基本部会)

参考資料6:東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業における眼の水晶体等価線量の管

理について(第 150 回総会資料 150-3 号)

(常備資料)

- ① 放射線障害防止の技術的基準に関する法律及び関連法令
- ② 原子力規制委員会が放射線審議会の委員等の任命を行うに当たっての透明性・中立性を確保するための要件等について
- ③ ICRP1990 年勧告(Pub.60)の国内制度等への取入れについて(意見具申)
- ④ 国際放射線防護委員会(ICRP)2007 年勧告(Pub.103)の国内制度への取入れについて
-第二次中間報告-
- ⑤ ICRP Publication 103 国際放射線防護委員会の 2007 年勧告(翻訳版)
- ⑥ IAEA GSR(Part3, Part7)
- ⑦ 放射線防護の基本的考え方の整理 放射線審議会における対応
- ⑧ 東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた緊急時被ばく状況及び現存被ばく状況における放射線障害防止に係る技術的基準の策定の考え方について(詳細版及び概要版)